

シン・J A職員紹介

① 年齢 ② 趣味・特技 ③ 仕事の抱負 ④ 配属先



- ① 20才
- ② 音楽鑑賞
- ③ 早く仕事や作業などに慣れたいです。
- ④ 湯口スタンド

なり た ゆう し
成田 悠詩

- ① 23才
- ② スノーボード
- ③ 早く仕事を覚えられよう頑張ります。
- ④ 湯口支所 購買課



あきもと りん ね
秋元 凜音



- ① 23才
- ② ドライブ／子供と遊ぶこと
- ③ 支所の仕事に早く慣れたいです。
- ④ 相馬支所 貯金

なかむら ふみ な
仲村 郁奈

- ① ヒミツ♥
- ② 手芸
- ③ ソフトクリームを上手に作れるようになりたいです。
- ④ 直売所



はなだ ま ゆみ
花田 真弓



- ① 41才
- ② スポーツ観戦
- ③ 仕事を早く覚えて頑張りたいです。
- ④ 本所 フルーツステーション

こ やま ゆう き
古山 勇樹

- ① 29才
- ② ライブ鑑賞
- ③ 1日でも早く仕事に慣れたいです。
- ④ 湯口支所 購買課



さわだ きり こ
澤田 霧子

よろしく
お願いします

生産情報

農業振興課主任 齊藤 大貴



りんごの生育状況

相馬管内の生熊が早い地区で、4月7日にふじの発芽日を確認し、昨年よりも2日遅い発芽日となりました(湯口地区)。また、展葉日についても昨年より2日遅い4月14日となりました。尚、4月中旬以降の気温が比較的低く推移したことで降雨の影響により生育は前年よりも11日ほど遅く、5月8日に開花日を迎えました(前年：4/27)。

りんご作業

一回目の摘果作業は、早く、多

●地区別の開花日 (カッコ内は昨年比) 5/8現在

生育状況	ふ じ	王 林	つがる
湯 口	5/8 (11日遅い)	5/3 (7日遅い)	5/6 (8日遅い)
紙 漣 沢	—	5/7 (10日遅い)	—
相 馬	—	5/8 (11日遅い)	—
りんご研	5/5 (8日遅い)	5/2 (7日遅い)	5/3 (6日遅い)

くの数を摘果するよう心掛けましょう。果実の細胞分裂が終わる「落花25日頃」までに摘果を終えるのが理想的です。

▼摘果剤について

摘果作業が遅れそうな場合は、薬剤による摘果を行きましょう。摘果剤はミクロデナポン1,200倍を使用し果実に十分かかるように、展着剤を加用して10aあたり350ℓ以上散布して下さい。

散布時期については、ふじ・王林・早生ふじ・トキが満開2週間頃(ふじは横径目通りの高さで7〜10mmくらい)、紅玉・星の金貨では満開3週間頃(紅玉では中心果の横径16mmくらい)の1回です。つがるやジョナゴールド、世界一などの早期落果しやすい品種にかかると落ちすぎる場合がありますので、かからないように注意しましょう。

▼ツル割れ防止対策における「ヒオモン水溶剤」の使用について
ヒオモン(水溶)は単用散布とし、満開20〜30日後に3,000

倍で10aあたり350ℓを目安に散布しましょう(ふじ)。尚、高温・乾燥時や極端に樹勢の弱い品種への散布は避けて下さい。

○水稻

水田の一発除草剤は、「ゼータタイガイジャンボ剤」を使用します。使用時期は、移植後3日後から使用可能で、代掻きから1週間以内を目安に散布して下さい。

散布の際には、5〜6cmの深水にし、その後3〜4日は水田に水を入れないようにして下さい(薬剤の層を壊さないため)。やむを得ず水を入れる場合には、静かに水を入れてください。また、その後の水管理については、平均気温が高い場合は浅水(2〜3cm)にして分げつを促進し、低温の場合には、深水(5〜6cm)で管理し稲の低温障害を防ぎましょう。水が足りなくなった場合は夜間に水を入れ、かけ流しは絶対に避けてください。

◎STOP! 農作業事故

機械作業は焦らず無理をしない運転を心がけましょう。どんなに慣れた作業でも油断はせず、事故防止に努めて下さい。

●りんご病害虫防除暦 (第3回目〜第6回目)

散布計画 散布量	散布時期	基準薬剤	希釈倍数	備 考
3 350ℓ	落花直後 (5月中旬)	ミギワ20 (F) ジマンダイセン (水) アタブロンSC バイカルティ	4,000倍 600倍 4,000倍 1,000倍	●昨年、リンゴハダニが多発した園地では、パロック (F) を加用する。
5月中旬		コンフューザーR (100本/10a) ※1袋50本入り		●コンフューザーRを5月下旬までに設置し、ハマキムシ類及びシンクイムシ類における次世代の密度低下に努める。
4 350ℓ	落花10日後 (5月下旬)	デラン (F) エルサン (水) バイカルティ	1,500倍 1,000倍 1,000倍	●デラン (F) とユニックス (顆水) の混用は避ける。 ※デラン (F) とユニックス (顆水)、殺虫剤における3種混用は、薬液の変色及び沈殿物の形成が認められているため。
5 420ℓ	落花20日後 (6月上旬)	ジマンダイセン (水) サイアノックス (水) バイカルティ	600倍 1,000倍 1,000倍	
6 500ℓ	6月中旬	ラピライト (水) モスピラン (顆水) ダニオーテ (F) バイカルティ	500倍 4,000倍 2,000倍 1,000倍	●ナシマルカイガラムシの発生が多い園地では、コルト (顆水) 3,000倍を散布する。 ●ダニオーテ (F) は、銅材を含む製剤と混用しない(効力低下)。また、散布後に銅材を使用する場合は、散布間隔を10日以上空けること。尚、銅材散布後は、効果が劣るので使用しない。